「世界のオンライン薬局市場2022年－2031年：製品別（処方薬、店頭販売商品、その他）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年10月6日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のオンライン薬局市場2022年－2031年：製品別（処方薬、店頭販売商品、その他）」調査資料の販売を2022年10月6日
に開始いたしました。オンライン薬局市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のオンライン薬局市場2022年－2031年：製品別（処方薬、店頭販売商品、その他）
■英文タイトル：ePharmacy Market （Product: Prescription Medicines, Over-the-counter Products, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年9月26日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
オンライン薬局とは、医療を提供し、患者が処方された薬をオンラインで購入することができるオンライン薬局のことです。オンライン薬局は、主にオンラインで運営されている薬局の一部門です。インターネットを活用し、専用の配送業者を介してお客様にお薬をお届けします。オンライン薬局には、独立したインターネット専用店舗、「レンガ造りの」病院の電子子会社、薬局会社にサービスを提供するプラットフォームなどがあります。医薬品市場の8～10%を占めるが、オ

ンライン薬局の認知度が高まっているため、大きな成長余地があります。オンライン薬局は宅配便の準備も整っており、自宅にいながら研究室や医薬品にアクセスすることができます。
オンラインショッピングや処方薬・非処方薬の販売など、電子薬局システムが急成長しています。インド最大のコングロマリットや多国籍のEコマース企業が、この分野でのプレゼンスの確立に努めており、既存のプレイヤー間の統合も進んでいます。卸売・小売業においても、Eコマースの重要性が高まっています。Eコマース企業の受注は約20%から30%増加しています。電子薬局や医薬品のオンライン販売というコンセプトは、20年以上前から世界中で普及しています。オンライン薬局は、スマートフォンとインターネットの普及により、カテゴリーを問わず急激な成長を遂げています。人々は、食料品、衣料品、医薬品など様々なものをオンラインで購入するようになりました。このような消費者の購買習慣の大きな変化に伴い、オンライン薬局は有望な産業として浮上しています。また、オンライン薬局では、医師の診察などのオンラインサービスだけでなく、オフラインのサービス（診断を含む）も数多く提供されています。電子薬局の世界市場規模は、スマートフォン利用者の増加や世界的なインターネットの普及により、予測期間中に拡大すると予想されます。また、電子署名薬局の導入が増加していることも、予測期間中に市場を拡大させると考えられます。

オンライン医薬品販売の増加は、薬局市場に大きな混乱をもたらしました。また、通信販売やオンライン薬局の成長も、薬局のサービス体制や薬剤費に大きな影響を与える可能性のある要因です。COVID-
19の大流行は、消費者の購買行動に大きな影響を与えています。より多くの人々がオンライン小売業者や専用のePharmaciesからヘルスケア製品を購入するようになったのです。
Pharmaceutical
Journalに掲載された研究によると、英国では2020年に通信販売薬局で調剤される品目が45%増加しました。NHS Business Services
Authorityから情報公開法を通じて入手した調剤データと遠隔販売薬局のリストを使用したところ、これらの薬局が2020年に調剤した品目数は4200万品目であることが判明しました。
デンマークでは、薬局は処方箋に基づく医薬品のみを消費者に販売する独占的な権利を持っています。いくつかの一般用医薬品（OTC）は薬局でしか購入できません。デンマークには、
2021年1月1日
現在、227の薬局と2つのオンライン薬局があり、さらに、1つの薬局には80の支店、209の自主設置支店、24の薬局店舗、約350のOTC店舗、約400の薬の配達施設があります。
人々は、あらゆるオンライン取引において、利便性、信頼性、そして手頃な価格を求めています。音楽、食品、メディアなどのカテゴリーをオンラインショップで購入することは既に容易になっています。そして今、より複雑なカテゴリー（OTC、医療機器、処方薬）に対しても、同じレベルのサービスを求めているのです。したがって、予測期間中にオンライン薬局のトレンドが高まることが予想されます。

製品別では、2021年の世界のオンライン薬局市場において、処方箋医薬品セグメントが最大のシェアを占めています。同セグメントは、予測期間中、市場における主要な地位を維持すると予想されます。オンライン薬局は、従来の薬局よりもはるかに幅広い選択肢を提供するため、患者はオンライン薬局から大きな利益を得ています。いくつかの医薬品は通常のドラッグストアで購入できますが、処方された医薬品を現地の薬局で見つけることは必ずしも可能ではありません。インターネットは、すべてをシンプルかつ実用的にしてくれます。登録医の処方箋があれば、オンラインで医薬品を注文し、自宅の玄関まで届けてもらうことができるようになりました。これは、医師が処方した薬を注文する際によく行われることです。スマートフォンやインターネットの普及により、人々は近くの薬局に行く代わりに、オンライン薬局を選ぶようになったのです。また、自宅にいながら薬の値段を比較して処方箋を注文することもできます。そして、数回クリックするだけで、自宅の玄関先まで薬を届けてもらうことができます。このような利便性は、今後

数年間のオンライン薬局市場の成長を促進する重要なセールスポイントとなるでしょう。

2021年の世界のオンライン薬局市場では、北米が最大のシェアを占めています。同地域は予測期間中、そのシェアを維持すると予想されます。インターネットユーザーの増加により、デジタル技術の採用が進み、同地域のオンライン薬局市場にかつてない成長機会を提供しています。
欧州では、イギリスとドイツがオンライン薬局の主な市場となっています。これらの国では、医薬品をオンラインで購入する傾向が強まっています。一般医薬品評議会のためのYouGov調査によると、英国では25%の人が将来的にオンライン薬局を利用する可能性があると回答しています。同国には350以上のオンライン薬局が登録されています。過去12カ月間で30万人の患者がPharmacy 2UのNHS処方箋サービスを利用して薬を届けており、レスターシャーにある新しい施設では、1カ月あたり750万件の調剤を行うことが可能です。
アジア太平洋地域の市場は、予測期間中に最も速いCAGRで成長すると予想されます。中国やインドなどの新興国における人口の多さ、デジタル技術の導入を奨励する政府の取り組みの増加、オンライン薬局ソリューションの利用を望む顧客の増加などにより、オンライン薬局に対する投資家の関心は着実に高まっており、この分野には2020年だけで7億米ドルの投資が見込まれています。アジア太平洋地域には、Pharmeasy、Medlife、1Mg、Netmedsなどの大手企業があります。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/epharmacy-market-product-prescription-medicines-over-the-counter-products/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com